

このところの猛暑続きで熱中症の危険もあり、活動は午前中で終了しました。

気温も 32 度あり蒸し暑い日でしたが、生き物たちはいろいろな姿を見せてくれました。

短縮ルート

野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森

外—外来種 園—園芸種

野の花苑



台湾杜鵑
タイワンホトトギス 外



金水引 キンミズヒキ



現の証拠 ゲンノショウコ



蛍袋 ホタルブクロ 6 月
に比べると乾燥している



鹿子百合 カノコユリ



水玉草 ミズタマソウ 実
はひっつき虫 作業時困る



玉紫陽花 タマアジサイ
池の対岸に咲いている



狐の孫 キツネノマゴ
穂が狐の尾に見え小さいから



秋海棠 シュウカイドウ
外 中国原産



蜂蜜草 ハチミツソウ 外
北米原産ミツバチの蜜源



禊萩 ミソハギ お盆の時
枝を水に浸して仏前で禊した



野紺菊 ノコンギク
野菊



白花蘿藦 シロバナガガ
イモ 実を楽しみに待つ



桔梗 キキョウ 珍しく
花弁が 4 枚



ルドベキア 園



雁金草 カリガネソウ



ニホンアマガエル 20mm



ジョロウグモ幼体 18mm



ニホンヒメグモ ♀ 4.5mm



シロカネイソウグモ
♀ 4.4mm



ヤマトシジミ 30mm



スジグロシロチョウ♂
夏型 35mm



ムラサキシジミ 30mm
食樹のアラカシの葉の上で



キマダラセセリ 32mm



アゲハ 90mm



オニヤンマ 114mm



オオシオカラトンボ♀
60mm



オオシオカラトンボ
♂ 60mm



ハラピロトンボ♀ 42mm



ヨツスジトラカミキリ 20mm



ヤマトアシナガバチ 23mm



マメコガネ 13mm



ヒシバッタ 10mm



エンマコウロギ幼虫 20mm



ショウリョウバッタ幼虫



オオカマキリ幼虫 100mm
まだ翅が伸びていないので
大きくても幼虫



アブラゼミ 60mm



♀産卵管

アブラゼミ抜け殻 ♀



アブラゼミ抜け殻 ♂



ニイニイゼミ抜け殻
30mm 細かい毛があり
泥だらけ 地面近くで脱皮



ヌマガエル 50mm 本州中
部以西に生育⇒人為的に関
東に 国内外来種とされる



ニホンカナヘビ 250mm
日本固有のトカゲ 尾が長
いのでヘビとつけられる



セスジスズメ幼虫 40mm
アンテナのような尻尾があ
り サトイモ科の葉を食べる



館前庭 ウメノキの葉に、白く 30mm 大の脱脂綿の塊のようなものが付いていました。調べてみると小さなアリが出てきましたが、中身は空洞のカプセルのようなものが一杯。寄生バチの卵塊らしいです。

弁 天 坂



オナガサナエ 66mm



道に 10mm 大のフンがあり上を向いたらこれがいいた →



オオミズアオ 幼虫 80mm いろいろな木の葉を食べる



道のはしに ↑ あったものを掘り出してみると



オサムシタケ オサムシの蛹から発生する冬虫夏草 (虫から出るキノコ)

見 晴 ら し の 丘



ヤマトシジミ ♀ 30mm
カタバミの葉に産卵中



シオカラトンボ ♀ 60mm



ミスジマイマイ 幼体 10mm



オオカマキリ 100mm



ルリモンハナバチ 13mm
久しぶりの青い蜂 素早い



ブチヒゲカメムシ 18mm
草地で見られる



ムラサキシラホシカメムシ 6mm
イネ科の植物につく



ホソハリカメムシ 12mm
交尾中



ツチイナゴ ♀ 40mm



ベニシジミ 35mm



モンキチョウ ♀ 60mm



ヒメエグリバ 幼虫 40mm

野の花苑と見晴らしの丘までで見聴きした生き物
野鳥：ガビチョウ・ヒヨドリ・コジュケイ・ハクセキレイ
昆虫：ナガサキアゲハ・モンキアゲハ・ナツアカネ
爬虫類：アオダイショウ

咲いている花
キツネノマゴ・アカツメクサ

くわくわ森



夷草 エビスグサ外 北米
原産 夷=異国の草 健康茶



雌株



雄株

鬼野老 オニドコロ
山芋に似るが有毒 雌雄異株



藤甘草 フジカンゾウ



釣鐘人参 ツリガネニン
ジン根が生薬(シャジン)



水玉草 ミズタマソウ
昔からこの森に生育



蠅毒草 ハエドクソウ
ハエトリ紙の原料



姫キンミズヒキ



臭木 クサギ 花が開
くと馥郁たる香り



秋の田村草 アキノタム
ラソウ 半日陰好む

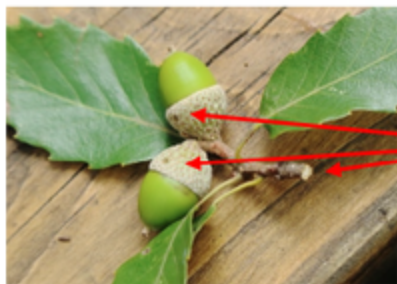


秋唐松 アキカラマツ
生薬 健胃・解熱作用あり



眞弓 マユミ
昔これで弓を作ったという

8月に入るとコナラのドングリが枝付きで落ちています。よく見るとドングリには小さな穴が一つ開き、枝はハサミで切ったようにスッパリと落とされています。誰がやったかという・・・



ハイイロチョッキリ 9mm

左の写真ハイイロチョッキリのメスが長い口でドングリに穴を開け、卵を産みつけてから、木の枝を切り落とします。枝の太さはチョッキリの首の太さぐらいありますが、それを口でかみ切ります。オスは働かず、メスを他のオスに取られないように守るだけ、なんにもしません。産みつけられた卵はドングリの中で孵り、地中にもぐって蛹になり、夏に成虫になります。



オオシオカラトンボ♀
60mm 樹林がある湿地
に生息



クロソジシバ 15mm
他の昆虫を捉えて体液を
吸う



モンズズメバチ 24mm
夜間でも活動する セミ、
トンボ大型の虫を好む



ノゴリクワガタ♀
33mm



ルリタテハ 65mm 鮮やかな瑠璃色のラインが目立つチョウですが、翅を閉じると木肌そっくりで見分けがつかず、まるで忍者です



アカボシゴマダラ 95mm 外 特定外来生物に指定されている



ウラギンシジミ 40mm 翅の表は赤でしたので、指に止まって汗の塩分を吸っている



ツマグロヒョウモン ♀ 70mm スミレの葉に産卵中



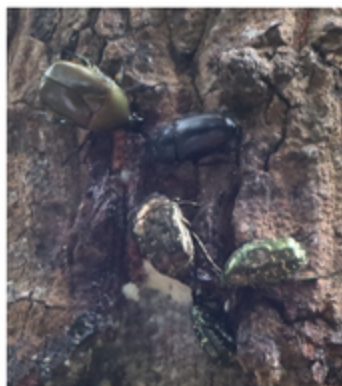
ダイミョウセセリ 40mm 翅が傷んでいる



アカボシゴマダラ 95mm 外 特定外来生物に指定されている



スジグロシロチョウ 50mm 交尾しながら飛んでいた



クヌギの樹液に集まる甲虫たち シラホシハナムグリもいたようですが、写真不鮮明のため不明です



キバラヘリカメムシ 17mm 交尾中
これが産んだ卵がマユミの葉についていた



シロテンハナムグリ 25mm



ヒメカメノコテントウ 4mm



ヒメクダマキモドキ 幼虫 30mm



ヨツボシケシキス 14mm
クヌギの樹液に集まる



カナブン 30mm



アズチグモ 8.6mm
花のそばで待ち伏せすクモ



ホシハラヒロヘリカメムシ 15mm クズ、フジなどにつく



ヤマトタマムシ 40mm 野の花苑で昼食中に飛んできたので、捕まえたらずに死んだふりをしている
上翅は構造色によって金属のように光り、死んでも色褪せない この光によって野鳥に食べられない



田んぼ ショウジョウトンボ ♂ 55mm